

中札内村総合行政推進委員会 第5回まちづくり部会 会議録

日 時 平成29年11月29日(水) 19:00～21:00
場 所 改善センター 会議室
出席委員 五十嵐真也、桑田尚行、小山 陣、斎藤まり子、島次孝至、本間克伸、
渡邊芳恵(7名)
欠席委員 河瀬智憲、瀬川 亮(2名)
事務局 総務課長 阿部雅行、教育委員会次長 高桑 浩、産業課長 尾野悟里
総務課長補佐 氏家佑介、総務課事務補 黒澤菜々美

議 事

(開 会) 19:00

(阿部課長) こんにちは。時間となりましたので総合行政推進委員会まちづくり部会を始めます。それでは、部会長からあいさつをお願いいたします。

(五十嵐部会長) みなさまお疲れ様です。お忙しい中、2週にわたりご参加いただきありがとうございます。今日で5回目となるまちづくり部会ですが、いつも以上に活発な意見等をお願いいたします。

それでは早速、第6期後期基本計画(案)について、事務局から説明をお願いいたします。

ー高桑次長 資料3に基づいて説明ー

(五十嵐部会長) それでは、ただいま事務局から説明のあったことについて、みなさまからご意見等あればよろしくをお願いします。

(五十嵐部会長) 高校生の通学費助成について、内容について検討しているかと思いますが、いつから行う予定ですか。

(高桑次長) 平成30年度から実施したいと考えています。まだ、決定はしていないのですが、一定の所得制限を設けることになるかと思っています。

(委 員) 子どもたちが安心して通うことができるとありますが、中学校を出てからの通り(東1条通り)が下校指導を行っている上で暗いという意見が多数あります。

(阿部課長) 防犯の方でも同様の意見(髪美人のあたりが暗い)をいただいております。

(高桑次長) 村内の街路灯を全て省エネの電灯に切り替えました。経費削減と地球温暖化防

止のため、2個電灯があるうち1つしかつけないところもあります。

(委員) コミュニティスクールについて、具体的にどういったものですか。

(高桑次長) 平成17年度から国が推進している事業で、地域全体で学校を支えるもので、住民（保護者含む）が学校運営に参画する仕組みになっています。学校運営協議会を設立し、学校に協力することで学びが増え、新しい事へのチャレンジなどもでき、先生の負担軽減にもなります。5月から5回会議を開催していますが、学びや心の面、体力アップなどを目指す子どもの姿を考え、そのために地域が何をするのか話し合っているところで、内容がまとまってきたところです。また、共育の日の普及啓発活動ですが、今までは実行委員会で行っていたのを解散し、協議会が継承している形です。

(委員) P T Aとは別のものですか。

(高桑次長) 別ですが、P T Aの役員の方もいるので密接しています。地域学校支援ボランティアとして個人と団体で登録している方もいます。安全確保として、新1年生のために通学路で見守り活動や注意喚起を行っています。

(委員) 各検定促進で、英検に力を入れたいと言っていましたが、塾でも英検取得のための勉強をしている人もいます。学校で取得のための指導はしているのですか。

(高桑次長) 平成28年度から中学校で促進に向け活動を行っています。小学校でも一部受験している人もいます。教育委員会として学校にお願いしている形です。英検の受験料等の内容はこれから検討しますが、平成30年度から助成をしたいと考えています。塾などでも検定を行っているので、平等に助成を行いたいです。

(委員) 通学費の助成について、教育委員会としては経済的に弱い人を支援する方向で考えているのですか。

(高桑次長) 一定の所得制限を設ける方向で考えています。世帯人数にもよりますが、準要保護（生活保護の1.3倍が基準）に基づき行いたいと考えています。

(委員) もし全員に助成となると負担が大きくなるのではないですか。

(高桑次長) 額にもよりますが、大樹町は高校存続のための対策として全額助成を行っています。1,000円、2,000円では効果が薄く、一定の金額にしたいので全員となると助成金額が難しいところです。

(五十嵐部会長) 少子化や移住促進に伴い、子どもの人数によって助成額を変えるのも1つの手だと思います。村民の期待度も高く、低所得世帯だけだと満足しない人も出てくると思います。

(委 員) 本格的に実施となると予算の組み替え等も必要になるのではないですか。

(高桑次長) 例えば、バス代が3万円として2分の1を助成する場合、1年で1人当たり18万円になります。準要保護の対象者が、1学年4人として3学年ありますので、216万円になります。これを全員に出すとなると財政的に厳しい部分があります。子どもの人数によって助成するというのは保育料方式であり、高校生が2人いる家庭へ1人分助成なども1つの方法だと思います。貴重なご意見ありがとうございます。これから慎重に検討していきたいと思います。

(五十嵐部会長) 村民プールすいすいについてですが、年間を通して利用できる可能性は今後ありますか。

(高桑次長) 今のところその予定はありません。要望として期間延長の声もあることから、平成30年度の予算で検討したいと思います。しかし、寒くなると来る人も減り、温水にしても泳ぐ人が少ないのかなと思います。また、延長となるとコストもかかるため難しいところではありますが、検討したいと思います。

(五十嵐部会長) 村でからだづくりや健康づくりを推進しているが、大人のトレーニングの場や運動の場がないので、期間延長することでからだづくりの部分で取り組めるのかなと思います。運動の場があれば取り組みが進むのではないのでしょうか。

(高桑次長) 村民体育館の1階のトレーニング設備は古く、交流の杜の設備はアスリート向けで一般の人は使いづらいかもしれません。ピータンスポーツクラブもあるので、是非参加していただければと思います。

(委 員) スポーツについて、少年団は一般の有識者が指導員となって教えているのが多くなってきているが、やはり学校の先生には頼みづらいものなのですか。

(高桑次長) 一部の少年団では学校の先生にも協力してもらっています。

(委 員) 昔は担任の先生が指導者でクラスの子がその少年団や部活に入り継続していました。スポーツに関わっている人が子どもたちを引っ張ってほしいなと思います。

(高桑次長) 時代もありますが、先生の負担軽減という流れになっています。教育委員会としても負担軽減を進めていきたいと思っています。

(委 員) スケートは先生が各学年を教えていて、子どもを引っ張っていましたが、今はそういったことも減ってきています。実際、そのようにしてオリンピック選手になった子もいるので、時代の流れもあるのはわかりますが、先生方に関わっていただきたいです。

(高桑次長) 中学校としては、第一に生徒指導力、それに加えて部活指導をできる先生が望ましいと考えていますが、現状としては難しい状況です。

一尾野課長 資料4に基づいて説明ー

(委 員) 担い手が少なくなってきていて、配偶者の出会いの場があればいいのかなと思います。冬は比較的忙しくないのも、冬であれば参加できるのかなと思います。

(尾野課長) 今は年に1回行っています。1回でうまくいくのかということもあるので、工夫していきたいと思っています。

(五十嵐部会長) 畑に来てもらうことはあるのですか。

(委 員) あまりありません。興味のある人も少ないのかなと思います。

(氏家補佐) 一緒に収穫し料理をするといった町もあります。日本全体でみても晩婚化が進んでいるので、北海道と連携して、婚活の場での話題や服装などの勉強会も開催されています。

(尾野課長) 服装や話題に困っている人も多くいるので、担い手育成センターとしてもセミナーなどを開催してアドバイスの機会を設けたいと思っています。

(委 員) 担い手育成センターについて、農協と村で予算を確保することが必要になってくと思うが、増額などは考えているのですか。

(尾野課長) 現在、主な事業が婚活パーティーなので、一定の予算で組んでいます。新規の事業を行う際には増額も必要と考えています。

(委 員) ICTについて、更別や清川でドローンの使用も始まったようだが、村としての考えはなにかあるのですか。

(尾野課長) 更別で特区が始まり、村もドローン等を含め取り組んでいきたいと思っています。協議会の事業でドローンの試験や見学視察を考えています。新しい技術の研究、検討をしていきたいです。

(委 員) ICTはお金もかかるので補助事業等もあると思うが、いち早く農家に知らせていただきたいです。

(委 員) 大規模草地育成牧場について、指定管理者は農協のままですか。

(尾野課長) 平成32年まで農協にお願いをしています。それ以降はまだ白紙状態です。

(委 員) まちなかの空洞化はとてもよくわかり、企業立地の促進とありますが、六花の森営業終了後に食堂も終わってしまうため、冬期間まちなかで営業してくれるといいなと思います。

(五十嵐部会長) 地場製品のブランド化推進について、具体的な取り組みは何かあるのですか。また、6次産業化に取り組んでいる方のアピールする場を設けたらいいのではないですか。

(尾野課長) 今年から小規模起業支援補助金を活用した事業者の商品や、枝豆等を首都圏に知ってもらうため、友好都市である埼玉県川越市のデパートにアンテナショップをオープンしました。知っていただく取り組みとしてPRにはなっていますが、売り上げが比例するかといったらそうではないのが現状です。今後、今のやり方が正しいのか、他にも北海道物産展や美しい村連合の物産展もあるのでアンテナショップにこだわらず協議していきたいと思います。

(阿部課長) 6次産業化は2～3年前から村独自で、新規起業は300万円、違う分野への起業は200万円の補助金を出しています。ベジハートやあんていーがこれを活用しています。この独自の支援は今後も継続していきたいと考えています。

(氏家補佐) 開発しても売れなかったら困るので、村でPRなど支援していきたいと思っています。アンテナショップはデパートの一角を借りて売っている状況です。

(委 員) まちなかにぎわいに関して、庁舎建替えの話がでているが、違う場所へ建設するならその面も考慮しなくてはならないのではないのでしょうか。

(阿部課長) 現在、旧保育所跡地に建設を予定しています。まちづくりトークでその旨説明しているところです。移転の良い点として、1つ目は水害に強く、旧保育所跡地は浸水区域から外れています。役場は防災拠点になるので、条件としては良い場所です。2つ目は、現在の場所に建替えとなると、一時的に仮庁舎が必要になり、2回引っ越しをすることになります。その分、余計なお金が発生してしまうので、現庁舎からも近い旧保育所跡地にと考えています。今はまだ良い案はありませんが、にぎわいづくりのため、取り壊した後の現庁舎跡地と改善センターをどのよ

うに使用していくか検討していきたいと思います。

(委 員) 中心街に空き店舗が多いが、村としてはそこを利用し、観光施設や村民のために活用する構想はあるのですか。

(尾野課長) 今ある建物を有効的に活用していくためにも、公共施設の活用を中心に検討しています。空き店舗の活用は村としては考えていません。どちらかという民間事業者の活用がメインになり、その際に補助金等を活用し、側面的に支援する形になるかと思っています。

(委 員) 美しい村づくりについて景観の面で悪臭の問題が長く言われ続けていますが、うまくいかない原因はあるのですか。

(委 員) 昔に比べるとかなり改善されていると思います。何か臭い対策の新しい技術はあるのですか。

(尾野課長) デオマジックというものがあり、サンプルは取り寄せていますがまだ試験を行っていません。施設の中や密閉空間には効果がありますが、畑やたい肥処理施設ではあまり効果はないという話もあります。昨年度も別の方法で試験等は行っていますがうまくいかなかったのが現状です。南工連の臭いについては、微調整がうまくいかずどうしても稼働初期の9～10月に臭いが発生してしまいます。村全体の臭いがなくなるといった効果的なものはありませんが、随時新しいものを取り入れ、研究していきたいと思います。

(五十嵐部会長) 最後に全体を通してご意見等ありますでしょうか。なければこれで、第5回まちづくり部会を終了いたします。みなさま長い時間お疲れ様でした。

(閉 会) 21:00